

新居浜市地球高温化対策地域協議会幹事会会議録(第3回)

日 時：平成22年 5月12日(水) 13:30～15:20

場 所：市役所3階 応接会議室

出席者(敬称略)：新居浜市連合自治会(日野)、新居浜商工会議所(渡邊)、新居浜市議会(藤田)、にいほま環境市民会議(真鍋)、温暖化を止める会新居浜(荒木)、新居浜建設業協同組合(飯尾)、新居浜市PTA連合会(白石)、新居浜市老人クラブ連合会(佐々木)、新居浜市食生活改善推進協議会(秦)、新居浜市女性連合協議会(野村)、新居浜市消費生活改善推進協議会(続木)、新居浜市連合婦人会(定岡)、いしづち森林組合(伊藤)、四国電力(株)新居浜支店(宮崎)、新居浜市公民館連絡協議会(真鍋)

欠席者：新居浜市農業協同組合、愛媛県トラック協会新居浜支部

傍聴人数：1名

事務局：神野、曾我、藤田、小松、守長、青野、高橋、吉岡
(ごみ減量課) 本田、近藤

参与

皆さん、こんにちは。定刻がまいりましたので、第3回新居浜市地球高温化対策地域協議会幹事会を開催させていただきたいと思います。事前連絡は頂いておりませんが新居浜市農業協同組合さん、愛媛県トラック協会新居浜支所さんがお見えになっておりませんが、始めさせていただきます。

なお、この幹事会につきましては、今日で3回目ということになります。1回目2回目で確認しておけば良かったのですが、この会議は原則公開ということで進めさせていただきたいと思います。ということで今日もお見えになっていますが、会議の傍聴希望があればそれを許可するという方針で思っておりますので、今後よろしく願いいたします。

まず最初に、今日は配布資料が多いので確認をさせていただきたいと思います。

【配布資料確認】

参与

それでは、会議を進めさせていただきたいと思います。

まず私ども事務局が配布した資料について、簡単に説明させていただきます。

【配布資料の概要説明】

参与

ここまで一気に資料の説明をさせていただいたのですが、ここまでの部分でご質問等ございませんでしょうか。今回の資料は、この地域協議会で議論を始める前に、今まで先輩たちが取り組んできたものが、こういう冊子にまとまっていて、本来であればこういったものに基づいて一つ一つやってくということになると思いますので、これからの議論の参考にしていただきたらという意味で、皆さんに再度お配りいたしました。

眞鍋

(にいはま環境プラン(抜粋)について) 農地の保全が外れていますね。森林の保全は入っていますが。

参与

これは私が抜粋したのですが、何が地球温暖化防止に関連するのかというのが非常に難しく、たぶん農地の保全もCO₂の吸収という方面でとらえれば入るということになると思うのですが、これでお目通し頂けたらと思い作成いたしました。

荒木

この資料は、最初にいただいた方が良かったと思います。私たちの権利や暮らしから地球温暖化は始まっているわけですが、この資料を見てみると、僕らの暮らし全般をすべてまとめてあります。これを全部やらないと温暖化防止は出来ないといっている。ということは、一つだけに絞って、これをやりましょうということにはならないと思います。地球温暖化は待ったなしなので、誰がどういう形で、市民にこの政策をどのように広めていくのが大事な問題なのだと思います。

参与

その他に、ご意見はございませんか。なければ本題の方へ移りたいと思うのですが、一応前回の幹事会で項目を選定しましょうということで、マイバックの持参推進、それからエコドライブの普及推進、節電・節水という3つの項目から我々地域協議会は取り組んでみましょうということになりました。これらの実行方法などについて、これから議論をしていくわけですが、議論をしやすくするために活動項目個票というものを作ってみましたので、それについて説明させていただきたいと思います。これは今、荒木さんがおっしゃった誰がどうするのかというのを進めていくための一つの手法だと考えていただければと思います。

【個票の概要説明】

参与

以上簡単ではありますが、活動項目個票というものを作り、ひと目でわかるような

まとめ方をさせていただいておりますので、こういうものを見ながら、資料などを参考にしながら、議論をしていきませんかという提案でございます。ここまでの内容で、ご意見等がございませんでしょうか。まず、このような活動項目個票というものに整理しながら幹事会を進めていくということについては、よろしいでしょうか。

【異議なし】

参与

ありがとうございます。それで3つの活動項目を挙げていますが、これを一つ一つ議論すると時間がかかりますが、一つ一つをみなさんで議論するのか、あるいは分科会方式で3つに分けて議論するのかとか、いろいろな案があるかと思いますが、どのような議論の方法がよろしいでしょうか。

【意見なし】

参与

メリットデメリットはそれぞれあるかと思います。みんなで一つ一つやるという方法であれば、みなさんの理解がより深まって共通認識の中で全体として取り組めると思います。またこういう地球高温化防止対策というのは市民一人ひとりがその気になって取り組んでいただかないといけないことですが、分科会方式で3つに分散すると参加していない分科会については結果報告しか受けないため、みんなで一緒にやった方がよいと思いますが、一つ一つやるとなるとスピード感に欠けるという欠点があります。

みなさんの意見が出ないようなので、私の考えを申しますと、私は出来れば一つ一つ個別に出来れば良いのではないかと考えています。と言っても、一つの項目を3回も4回もかけて議論するのではなく、いろんなことが関連していくので、一つ一つ片付けていって一つからでも取り組んでいってというようなことで、何年か後に振り返ってみると、1年目にこれだけのことが出来た、2年目にこれだけのことが出来たと、進んでいけるのかなというふうに思っています。

案

活動の進んでいる団体と、今からやってみようという団体があると思いますが、前回の幹事会で、今回は3項目に絞って議論を深めていきたいということでしたので、私どもの団体で考えたのは、選定された3項目を推進していくことは、効果が見えない事について効果を出していくことで、これほど難しい事はないと思います。ですから、マイバック持参推進であれば、とにかく市民みんながマイバックは持って行くというように、やれることからやるということと、市民一人一人に認識を持ってもらう

ことが大事だと思います。私たちの団体では、認識を持ってもらうために活動表を渡しており、評価のための丸を付けてもらって、3ヶ月毎に集計をとっています。そういった目に見える評価のあり方を考えることも必要だと思います。また、レジ袋無料配布中止に協力していない店舗についても、本店がやっていないから新居浜市の店舗もやらないというのではなく、新居浜市にある店舗だけでもやってもらうという呼びかけも必要だと思います。またエコドライブの推進にしてもやるしかないと思います。

参与

ありがとうございます。今、具体的に秦さんから意見が出ましたが、このように一つ一つ議論を出していただいて、新居浜市全体として、どういうやり方をすれば市民全員がそういう気持ちになって取り組んでいただけるのかというのを、最終的にこの会でまとめていったらどうかということ、マイバック持参推進ならマイバック持参推進について議論して、片付いたら次へということを進めさせていただけたらと思います。それでマイバック持参推進については、すでに新居浜市では取り組んでいますので、今日は担当課にも来てもらっていますから、もし疑問があれば質問していただければと思います。それでは、今、秦さんからご意見をいただきましたマイバック持参推進を議題として進めさせていただいてよろしいでしょうか。

【異議なし】

参与

それでは、事務局の方から何か発言ありますか。

本田

昨年の6月からレジ袋の無料配布中止をしております。しかし新居浜市のお店には無料配布中止をしている店舗としていない店舗があり、実施している店舗からは売り上げにも影響が出ている、あるいは市にはそれほど苦情はありませんでしたが、レジでは苦情を受けて大変ですというような話もありまして、この6月から1ヶ月間、再度市民のみなさんに協力を訴えるためにキャンペーンの実施を予定しております。レジ袋無料配布中止をしている6事業者のお店で買い物をしていただいたレシート1,500円分をハガキに貼って応募していただいたら、少額ではありますが、抽選で商品券などを差し上げるというような取り組みをして、もう一度、関心を高めたいというようなことを6事業者と協議中です。参加していない事業者についてですが、スーパー2業者については、市からも働きかけをしておりますが、今のところ本社の方針ということで、参加には至っておりません。ドラッグストアにおきましては、協議の場には参加していただいている業者が3業者あります。しかし、スーパーマーケットと違って、レジ袋辞退のポイント制などにも取り組んでいないという状況ですし、取扱商品も医薬品や生理用品など、なかなかレジ袋廃止というのは難しいという事情も

ありますが、社内で検討しておりますというようにお話も伺っておりますので、今からそういった事業者にも、参加できる事業者には取り組んでいただきたいというスタンスではあります。

参与

ありがとうございました。今ちょうど、6月でレジ袋無料配布中止が1年になるので、1周年のキャンペーンをやりましょうかということで話し合いがもたれているということなので、このレジ袋削減推進協議会さんが今やっているというものに対して、1周年記念事業に我々も支援していくのであるとか、例えばチラシを配るのであれば、地域協議会も率先して協力するであるとか、そういった連携を深めていくことも一つの方法だと思います。

素

やっている人だけがやっているというのではなく、全市民がやるようにしなければいけないと思います。あの店に行ったらレジ袋がもらえないから行かないと言う人がいなくなるように啓蒙啓発することが大事で、締結団体を増やすことより、とにかく実践していくことが大事だと思います。約8割の人がマイバックを持って行くように普及できたという話を聞きました。であるならば、残りの約2割の人について、どうすればマイバックを持って行くようになってくれるかというようなことについて積極的に議論する必要があると思います。私は、昨年6月からレジ袋無料配布中止した店舗に直接行って、聞いて回ったのですが、6月、7月は客が減ったそうです。だんだん市民に浸透してきてからは、おおよそその客がマイバックを持って来てくれるようになったそうですが、その中で「やってみないと分からない、かといって何かやらなければ何も出来ない。やってみたら分かった」と言ってくれる人がいたので、一歩踏み出すことが重要だと思いました。

日野

6月にアンケートを実施するということが何かに出ていたと思いますが、それはどういった内容になるのでしょうか。要は、参加されるところでアンケートをとったところで、その店には86%の人がマイバックを持ってきているということなので、そしたらその人にアンケートをしても意味がないと思うんですが。私も妻と一緒に買い物に行きますが、妻が買物に行きたいという店は、レジ袋を無料配布してくれているところに、よく行くのが現状です。私の家の近所にはレジ袋無料配布中止をしていないマルヨシさんと、無料配布中止をしているコープさんがありますが、マルヨシさんはいつも駐車場に車がいっぱいです。コープさんには私の知り合いがいて、「困っているが、やらなければならないことだから仕方がない」と言われます。片方はレジ袋を無料配布、もう片方はマイバックを持って行かないといけない、そしてレジ袋には5円が必要と言われると、私の妻に聞いてみると「たった5円だが、今まで無料だったものにお金が必要だと言われるととても高く感じる。5円が500円ぐらいに聞こ

える。」ということでした。そうなる、そういったお店に買い物に行くことが抵抗感につながって、マイバックを持って行くことを忘れたときは、じゃあレジ袋を無料でくれるマルヨシさんに買物に行こうかということになっています。秦会長が言われたように、全市民に浸透しているとは思いますが、なかなか人間の心理として抵抗感があると思うので、対象や内容を考えてアンケートを取りたい。

また、新居浜市に進出してきた店舗について、本社の方針がうんぬんではなく「レジ袋無料配布を中止しなさい」と新居浜市が強力に進めても、良いのではないかと私は思います。

秦

レジ袋代の5円として集まったお金で、マイバックを配布するという事は、出来ないでしょうか。各世帯に1枚ずつ配布しておけば、最初にマイバックを自費で購入する必要がないし、マイバックを持って行くという意識づけになると思います。事例として黄色い袋を各家庭に配った市があるようですが、そこでは買物に行くときは必ず持って行くという習慣になっており、おおよそ市民の8割は出来ているということでした。

また、レジ袋無料配布中止をして約1年がたちますが、3ヶ月や6ヶ月単位で5円ずつ集めたお金がいくらになって、レジ袋がいくら減って、CO2がいくら減ったという実績データの公表が必要だと思います。

佐々木

今、市に協力している業者が、協力していない業者に対して損失を被っているということならば、協力している業者に対して新居浜市の名前を入れて協力店ということを書いた大きな看板等を出してあげるのはいかがでしょうか。そういう形にすれば利用する市民も一方は市に協力している業者、もう一方は協力しない業者ということが分かる。今は5円を取るか取らないかということで店舗を選んでいるようなので、そうではなく、市に協力しているんだということを新居浜市の名前で公表しておく必要があると思います。

秦

看板がある店舗は5円取られるというように考える市民もいると思います。看板があろうがなかろうが、マイバックを持って買物に行くような方法を考える必要があると思います。

飯尾

5円取られるという考え方は、後ろ向きな考え方だと思います。マイバックを持って行けば逆に得するような形でしたら、レジ袋を無料配布している店舗に買物に行っている市民が、レジ袋の無料配布を中止している店舗に流れていくのではないのでしょうか。

荒木

マイバック持参運動もやらなくてはいけないと思うが、ゴミ出しの時にも袋がいります。ゴミ出しをどうすればよいと新居浜市はお考えなのですか。

眞鍋

一人一日一枚レジ袋をもらっているというデータがあります。ゴミ出しにレジ袋を使用するとしても1週間に7枚もの袋は必要ないので、数枚がゴミになっていることになます。ということはマイバック持参運動はゴミ袋がゴミにならないことに寄与しているということです。

秦

荒木さんの言うとおりに、ゴミ袋を買おうが無料でもらうレジ袋だろうが、ゴミを出すためにはナイロンの袋が必要であることも考えなくてはならないと思います。

荒木

ということは、ゴミの出し方をどうするかという基本的な方針を新居浜市は出さなければならぬと思います。ゴミ出しの際にナイロンの袋で出すことは是にしており一方はマイバック持参運動でレジ袋を有料化してレジ袋を減らそうとしていますが、矛盾していると思います。一本の筋道を立てて考えないと市民の意識は変わらないと思います。

眞鍋

ゴミを有料化して、指定袋で出さなければならないということですか。

参与

荒木さんの言われているのは、無料でもらったレジ袋だろうと、購入したゴミ袋だろうと、ナイロン袋でゴミを出すのはいけないのではないかとということですよね。

荒木

そうです。私は生ごみをたい肥化して、元気な土を作って野菜を作る有機農業をやっています。本当はみんなもやったらいいじゃないかと言いたいが、農地がない人がどうするかという問題があるため、新居浜市がたい肥化工場を作るであるとか、ぼかし団子を作って海にまくなど、一貫した具体的な実行計画を考えるのが循環型社会の構築になると思います。2020年までにゴミ量を30%削減するなどの長期プランを立てていかないと進まないと思います。

眞鍋

荒木さんの言われることも分かるが、マイバック持参運動を進めてレジ袋がいらないということになれば、ゴミは減るので、もちろんゴミの減量も関連することではあるが、議論する際にマイバック持参推進というテーマについて議論するか、ゴミの減量というテーマについて議論するか、どちらか決めないと広がっていくだけでいつまでも結論が出ないということが考えられます。さしあたり今はマイバックの持参推進ということですから、ゴミの減量はサブテーマとして、メインはマイバックの持参推進として議論したほうがいいのではないのでしょうか。

荒木

そこで議論が分かれるところだと思います。国には2020年までに25%削減という方針があるが、それに向けて新居浜市はどうするのかという目標が明確であればいつまでにどうすればいいのかという行動が出てくると思います。

日野

みなさんの話をもっともだと思います。佐々木会長の言われている看板について、消防認定している防火セイフティマークがありますが、このマークがあれば知らない土地の店でも、この店は防火設備がしっかりしていると安心して利用する事が出来ます。今現実的に協力してくれる店としてくれない店があるのですから、新居浜市として格付けの必要があると思います。5円取られるではなく、新居浜市は県下の他市に先駆けてレジ袋無料配布中止を実施しているのだという誇りを持って店を選ぶような方法が必要なのではないでしょうか。

荒木さんや眞鍋さんの話をもっともで、新居浜市の施策としてゴミを出す際には、一部例外はありますが何かの袋に入れて出さなければならない事になっています。以前は無料でもらったレジ袋にゴミを入れて出せていたましたが、今はマイバックを持って行くことでゴミを入れる袋が不足しているため、ゴミを入れるための袋を購入する必要があります。確かに毎回レジ袋を無料でもらってくるとなると、必要枚数以上になるためゴミになってしまう不要な袋がでてきます。資源の無駄遣いという話も分かりますが、それも含めて新居浜市として、有料化の話になるかもしれませんが、現実出来るような話をする事が重要だと思います。

参与

話の整理をさせて下さい。今何点か出てきましたが、まず一点目が秦さんから新居浜市がマイバックを作って配ったらどうかということ、二点目が市に協力している業者と、協力していない業者の取り扱いをどうしたらいいのかということ、具体的には看板でも設置してあげたらどうかということ、ところが逆に消費者の足が遠のくかもという懸念があるということ、三点目がマイバック持参推進という運動に加入していると自覚させるためにも各種団体がこの締結団体に加わるべきではないかというご提案、四点目が一市民として5円を取られるという後ろ向きな考えではなく、レジ袋を辞退してマイバックを持って行けば得するという形にはならないかというご提案、五点目は行政としての行動に一貫性がないではないか、レジ袋廃止と一方で掲げているながら、ゴミは透明なビニール袋で出して下さいという政策の両方をしているが、この点を解決しなければいけないのではないかという、以上五点があったかと思いますが、この五点に関しては行政としても検討したと思いますし、レジ袋削減協議会の中でも意見は出ていると思いますので、どのような状況なのか報告をお願いします。

曾我

レジ袋削減推進協議会に入っている6事業者など、協力している事業者に対して、

やはり市としても差別化、その事業者のアピールの場として、やはりそういう看板や、のぼりなどが必要だと思います。一応、今度の1周年記念には100本のぼりを作ります。のぼりの一番上には協力店と入れる予定ですが、それについては、6事業者もそれで構わないということです。先ほど、わざわざそうしたら客がなくなるのではと懸念される意見がありましたが、そうではなくて、事業者は「あくまでもレジ袋は削減しなければいかん」という協力の意思を持たれていますから、その考えは尊重しつつ、市もそれを応援するというのでやっています。

それとレジ袋削減協議会には、より多くの団体に入っていていただいて、例えばこの協議会に参加していただいている個人、団体そういった方に入っていていただくことが大事だと認識しております。

また、レジ袋代の5円を原資にマイバックを作って配布したらどうかという意見についてですが、それについては平成21年度末の3月議会で環境保全基金を作ることが承認されました。その基金には、市からもお金を寄付しますし、そういった受け皿が出来ましたので、今後は、レジ袋で有料化した部分のお金を寄付していただくように考えております。実際に協力店から、レジ袋代について入金の手入れを受けております。それを基金に入れていただいて、その基金はそういったことに使用できたらと思っています。

秦

先ほどの私の意見を付け加えますと、市民みんながマイバックを使用しなければいけないという意識の啓蒙啓発をするという意味で配ったらどうかというだけです。

今、マイバック持参に取り組んでいる人はやっているけれど、やっていない人は無料でレジ袋をくれる店舗に買物に行くという事は、市民に対する啓蒙啓発が出来ていないということだと思ってしまうので、市からマイバックを配布し、「今日からこれを大事に使用して、レジ袋を買わない・貰わないで下さい」という啓蒙啓発が必要だと思います。

日野

現在、マイバックを持参することについて市民に周知されているとは思いますが、中には周知されていない人もいるかもしれない。だから全世帯に袋が配布されれば、全市民に徹底されるんだなと理解していただけると思うんですが、本当はこれは最初にするべきことだったのではないかと思います。

参与

部長からのお答えになかった、一市民として5円を取られるという後ろ向きな考えではなく、レジ袋を辞退してマイバックを持って行けば得するという形の取り組みにはならないかということ、レジ袋廃止と一方で掲げているが、ゴミは透明なビニール袋で出して下さいという政策の両方をしているが、市の行動に一貫性がないではないか、というこの二点について、何か補足はありますか。

本田

レジ袋の無料配布中止をする前は、マイバックを持ってきたらポイントを付ける店が多かったのですが、無料配布中止をするというときに、先行事例から可能であろうと予測したマイバック持参率目標を80%以上にするということから、お店としては来店した人ほとんど全部にポイントを付けることになってしまうので、今までのようにマイバックを持って来た人に特別にポイントをあげることは、無料配布中止を原則にする以上、趣旨が違いためやりませんというご意向だったので、今おっしゃられた5円とられるのではなく何か得する形の取り組みということですが、どうできるかについては私にも分からないことではありますが、ひとつは自分自身の行動が、CO2の削減や、原油使用量の削減に役立っているというような、環境に対して良い行動をしているという気持ちに結び付けてもらえるようなアピールがいるのかなと思います。

参与

レジ袋削減推進協議会の議事録が公開されていますが、そこで議論されているレシートを貼ってハガキを出してもらって抽選で何か商品を出しましょうというのが2月23日に議論されていますが、これの進捗状況はどうなっていますか。

本田

それがレジ袋無料配布中止1周年記念のキャンペーンです。

秦

一つのお店に1,500円のレシートを持って行けば商品をくれるんですか。

本田

マイバックを持って行きましょうということをもっとアピールし、より関心を持ってもらうために、レジ袋無料配布を中止しているスーパーで、マイバックを持って買い物をした1,500円分のレシートを貼ったハガキを応募していただけたら抽選で賞品が当たりますという一ヶ月間のキャンペーンを計画しているということです。

参与

レシートにはレジ袋を渡した場合、例えばレジ袋5円とかの記載があるそうです。マイバックを持って来た人にはその記載がありません。6月1日から6月30日までキャンペーンをするので、その間にお買い物をしていただき、その記載のないレシート1,500円分をハガキに貼って応募してくれたら、協力してくれている6事業者がお金を出し合って、なにか賞品が当たるようにするということが、その6事業者も参加しているレジ袋削減推進協議会の中で議論されていますと、公開されている2月23日の会議録にありました。それがマイバックを持って行けば得するという形の取り組みになるかと思います。

本田

このお店ではこういう取り組みをしていますというような、店の紹介、アピール、協力してくれている6事業者を支援するという意味でもあります。市政だよりも載

せます。

秦

何らかの方法で、店側もアピールしようとしているんですね。効果があれば良いですね。

定岡

6月からであるなら、市政だよりにすでに載せていないといけないのではないですか。5月号に掲載はなかったと思いますが。

近藤

6月1日から6月30日までのお買い物が対象ですから、5月号だと早すぎるということから6月号に掲載する予定です。イオンさんやフジグランさんは西条市や四国中央市からもお客さんが来ますので、新居浜市民ではない市外から来店するお客さんに対しては新聞折り込みや店頭で配布するチラシなどで周知することを検討しております。

参与

ゴミ袋についてはどうですか。

本田

ゴミ出しの際のゴミ袋についてですが、以前は黒いビニール袋が主流でした。ですが「黒い袋だと分別が守られない」ということから、10年程前に市民も入った審議会で議論していただきました。生ゴミは水気が出てくるため、紙素材だと破れるため特殊な防水加工した紙じゃないと使えないということなどから、ビニール袋に代わる容器というとなかなか難しく、一般的に市販されている袋やレジ袋も使用できるようにということから、透明もしくは半透明のビニール袋ということになりました。

現在の収集体系では、資源ゴミの収集方法を見直したため、市が配布したネットやカゴに入れてもらうことになっており、なるべく袋を使わなくてもいい収集方法になりました。しかしながら燃やすごみ、不燃ごみ、そしてプラスチックごみについては、適当な方法が今のところはないということから、袋収集のままになっております。

以前に比べたらゴミ出しに使用する袋の枚数が少しは減ったかと思います。ただ先ほど意見があったように、レジ袋にしようが、指定袋にしようが、ビニール袋を使用するならばCO2の問題は解決出来ていません。ですが、ゴミを出す量そのものもレジ袋をきっかけに考えて直していただけたと思います。レジ袋の使用枚数が減って相対的にゴミの量そのものや、ゴミ出しに使う枚数も減る方向でみなさんに考えていただけるような、努力が足りないかもしれませんが、そのような方向に行けばと思います。

秦

いくら話し合っても、これで良いということはないのですから、みんなが何から始めて、ここまでは全員出来たという方法をみんなで考えて、まず実行してみるより他

はないと思います。いっぱい素晴らしい意見を話し合っても、今まで出来ていないのだから、今からは絶対しなければならないというふうに徹底して、何度も言いますが進んでいる団体と、今から何かしようとする団体などいろいろありますが、とにかく市民全員がこれだけは知って、新居浜市全体で取り組んでいることに必死に取り組んだ結果、3ヶ月でこれだけの成果が出ましたというようなことが出来る方法が何かないでしょうか。難しいとは思いますが。

荒木

今日決めた方がいいとは思いますが、レジ袋無料配布中止に参加していない事業所がありますが、なんとかして参加させなければならないと思います。そのためには、この協議会がレジ袋削減協議会に加わって、いろんな組織に声をかけて同じように入ってもらって、参加していない事業所に圧力をかけていったほうが良いのではないのでしょうか。

参与

協力していないお店に、どう協力してもらおうかという方法論について議論したらいいのではないかと。その一つは圧力をかけるということですね。

秦

日野さんが言われていたように、他市から出店しているからというのではなく、新居浜市に来たからには新居浜市にならしてもらってということが大事だと思います。

参与

それについて、具体的な方法はありますか。

秦

それは、みんなで交渉に行くしかないのではないのでしょうか。市長に交渉に行ってもらおうとか。

参与

市長は交渉に行っているのですか。

本田

いいえ。市長は交渉には行っていません。レジ袋削減協議会にはマルナカ、マルヨシも参加はしていただいています。レジ袋無料配布中止に参加するかどうかの話し合いで、うちは参加しませんという結論になりました。参加いただいた6事業者だけで市内にある店舗数の8割なので、8割がそろえばとにかくやってみようではないかということから一歩前に歩みだしていただきました。しかし現在、いろいろな問題が起きていますので、キャンペーンなどで支援しようとしているのですが、マルナカ、マルヨシについては本社の方針ということで、他市の状況でも同様な件について参加が得られていないということですので、新居浜市の店だから従って下さいというのは難しいかもしれません。

秦

協力して下さっている6団体のうちの生協さんは、市内全部がそろってではないと出来ませんということだったと記憶しておりますが、どう解決したのですか。

本田

事業者のみなさんの意向として、出来るだけ足並みをそろえてやりたいという意見がありました。ただ、最終的には参加していない事業者もありますが、私のところはやりましょうということでコープさんも参加されました。

参与

まずは、協力要請は引き続きしていかなければならないということは間違いありませんね。

日野

トップである市長が本社のある高松まで行って話をして結論を出したら良いのではないですか。新居浜にある支店に交渉しても、それは無理だと思います。本社の方針で出来ないというのであれば、本社に行って市長として協力要請してきたら良いと思います。それでも出来ないというのであれば、その時初めて結論を出せばいいと思います。他市ではやっていないといっても愛媛県で他にやっているところはないのだから新居浜市は率先してやっているんだと強調してきたらいいのだと思います。

眞鍋

マルナカ、マルヨシのマイバック持参率データは把握できていますか。

近藤

マイバック持参率を提出してもらっていないので、今のところはわかりません。今後は協議会の中で提出はお願いしていくつもりです。

飯尾

地域協議会として、現在レジ袋無料配布中止を締結していない事業者に、要望書を出すというのはどうですか。

参与

出来ると思います。

藤田

マルナカ、マルヨシさんにはマイバック持参者にはポイントで還元するような方法をお願いするのはいかがでしょうか。

参与

どちらかのお店は、現在ポイント還元していると伺っていますが次回までに調べておきます。

参与

その他なにかありませんか。

ないようでしたら、次回の幹事会の日程ですが、6月22日（火）13時30分からこの応接会議室にて開催したいと思いますので、よろしく願いいたします。

委員の皆様には、長期間にわたりご討議いただき、大変ありがとうございました。
次回からも活発な討論をお願いいたします。